

第5回 新中間処理施設整備検討会議 (開催概要)

1 開催日時 平成30年1月22日(月) 13:25~13:55

2 開催場所 くりりんセンター 2階研修室

3 出席者

(1) 構成員

帯広市、音更町、土幌町、上土幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

(2) オブザーバー

北海道十勝総合振興局

(3) 事務局

くりりんセンター

4 議事概要

(1) 事業方式の概要について

事務局から資料1に基づき説明を行い、今後の事業方式の検討に当たっては、現在のくりりんセンターをはじめ、組合施設の運営形態や各種資格の保有者及び技術者の確保、さらにはこの間、自治体の進めてきた行財政改革の流れや国によるPFIの推進、他自治体の事例も参考にして、民間活力を活用する公民連携(PPP)方式とし、DBOとBTOに重点を置いて検討を進めていくこととした。

(2) 建設候補地について

事務局から資料2に基づき説明を行い、候補地としてより適性と判断できる2地区に絞り込み、次年度以降決定していくこととした。

【主な質疑(要旨)】

・現在のくりりんセンターと新しい施設の建設候補地の地域住民に対する説明スケジュールは。

→現時点ではいつ誰にという具体的なところまでは決めていないが、しかるべき時期には供用開始までの全体スケジュールを示して了解を得たい。

・既存の施設を利用して建設することなどの可能性は検討したのか。

→既存の施設を利用した建設についても検討を行い、20年30年に亘って使用する施設の整備であり、敷地の狭さが制約となって、19市町村にとって本来望ましい処理方式の選択が出来なかったということは避けるべきと考えに至った。

このため、検討可能な候補地が複数あるならば、不整形地や現在他の利用がある土地を候補地とせず、制約のない土地を最優先に検討すべきだと判断した。

(3) 事業工程案について

事務局から資料3に基づき説明を行い、平成39年度中の新施設の供用開始を目指して、次年度以降、具体的な検討を進めていくこととした。

【主な質疑（要旨）】

- ・循環型社会地域形成推進交付金のより有利な活用を念頭に災害廃棄物処理計画の策定についても今後の検討スケジュールに入れた方が良いのではないか。
→各自治体の災害廃棄物処理計画の策定作業を進めやすくするため、スケジュール感も含めた情報提供に努める。

(4) その他

事務局から検討報告書の取りまとめスケジュールについて説明し、了解を得た。